



延岡市のすべての子どもたちへの より良い教育の実現に向けて

このリーフレットを作成した目的

このリーフレットは、すべての子どもたちへのより良い教育を実現するために、延岡市小・中学校校長会、延岡市PTA連絡協議会、延岡市教育委員会が連携・協力して作成したものです。

各学校の学校運営協議会やPTAの話合いの場などでこのリーフレットを活用していただき、「より良い学校づくり」を進めていくためにどのようなことが必要なのか、何をしていけばよいのか、関係の皆様で話し合ってください。契機にさせていただきたいと願っています。

子どもたちを取り巻く課題が複雑化、多様化しています

① 少子化による学校規模の縮小



② 学校に行くことができない子どもたちや、学校生活への適応上の困難につながる特性を有する子どもの増加

③ いじめや非行、インターネット（SNSやゲームなど）に関するトラブル、児童虐待等の背景の複雑化

④ 子どもたちや保護者、地域の方々相互のつながり等、人間関係の希薄化

⑤ 子どもたちの良さを認め、伸ばす教育のさらなる充実と、子どもたちが相談しやすい環境づくり

学校だけでは、子どもたちの実態が見えにくくなってきています

教職員、保護者、地域の方々は、それぞれこんなことを感じています

教職員



- ◆ 「学校の働き方改革」と言われますが、社会の変化に伴って学校に求められることは増えており、職場環境が改善された実感はありません。
- ◆ 休日や夜間に起こった問題や、本来は家庭の役割であることでも、学校の対応を求められることがあります。
- ◆ 保護者や地域の方から「苦情が来ないように」「批判されないように」という意識が働き、学校が自信をもって指導できなくなってきました。

保護者



- ◆ 「学校の働き方改革」は理解できますが、保護者も毎日厳しい環境で働いています。学校の都合だけが優先されると違和感を覚えます。
- ◆ 学校で子どもに何かがあったときにはできるだけ早く、詳しい情報をいただき、その後の経過も教えてもらえると安心します。
- ◆ 学校に意見を言いにくいと感ずることがあります。
- ◆ 年々、保護者同士のつながりが弱くなってきていて、PTA活動も見直す必要が出てきていると感じます。

地域



- ◆ 学校は地域を活気づける大事な場所ですが、地域と学校の関係が希薄になってきていて、地域行事への子どもや先生の参加も減っています。
- ◆ 学校に協力したいという気持ちはあるけれど、学校は壁が高く感じてしまい、行きにくく感じています。
- ◆ 学校運営協議会などの学校の会議に呼ばれることがありますが、学校でしか使わない難しい言葉で言われてもあまり理解できません。

それぞれが「子どものために」、「より良い学校のために」と思っているのに、すれ違いが生じていることはありませんか？

「より良い学校づくり」のために、大切にしたい視点・考え方

「知らせる努力、知る努力」。先生も保護者も地域の方も、自分たちの喜びや奮闘、大変さを互いに遠慮なく知らせる努力をして、互いに知る努力をする。情報を共有することが、連携・協働の第一歩です。

先生と保護者が対立する関係になったり、顧客とサービス提供者の関係になっていたりするのは好ましくありません。見返りを求める「give and take」の関係ではなく、「win-win」の関係をつくっていくことが大切です。

立場や世代によって意見が異なるのは当たり前。忙しいのもみんな同じ。小さな出来事の共有、日常の声かけが互いの立場の理解や、信頼の積み上げにつながります。



先生も保護者も地域も問題が起こると人のせいにしていませんか？人のせいにしては子どもの成長にはつながりません。「学校は自分たちでつくるもの、一緒につくるもの」。そうであれば、人のせいにはできません。

自分は責任を負いたくないから人に任せるけれど、結果に対しては文句を言う。これではよい組織づくりにはつながりません。学校もPTAも、みんなで参画して意見を出し合うと組織は活性化していきます。

コミュニケーションの不足が誤解を生むことはよくあります。先生は忙しいことを理由にせず保護者や地域の方と対話することがよい関係をつくることにつながります。保護者・地域の方は、学校に対して「苦情ではなく意見を言う」ようにしたいものです。

保護者の皆様へのメッセージ

- 保護者の皆様には、PTA活動をはじめ、学校の教育活動に多大なお力添えをいただいております。また、学校からのさまざまな依頼に応じていただいております。お陰で、学校の教育活動が充実しています。
- 一方で、保護者の皆様の学校への期待や要望が高まっていることから、本来は学校で担うべきではない相談や要望などが寄せられることによって業務が積み上がり、学校が本来果たすべき役割に支障が生じてしまうことがあります。
- 家庭教育は、すべての教育の出発点です。子どもは、家族の触れ合いを通して、基本的な生活習慣や学習習慣、人に対する信頼感や思いやり、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身に付けていきます。また、子どもたちの学力向上のためには、学校と家庭が同じ認識をもって、子どもたちの学びに向かう力の育成や家庭学習の充実に取り組んでいくことが必要です。
- 学校は、保護者の皆様と適切な役割分担を行い、より良い協力関係を築いていきたいと考えています。学級懇談やPTAの会合などで、ご意見をお寄せください。



地域の皆様へのメッセージ

- 学校だけでは、子どもたちの成長や学びを支えていくことはできません。これまでも地域住民の皆様には、登下校の見守りや読み聞かせ、学校周辺の環境整備、各教科の授業補助、部活動支援など、様々な形で学校にお力添えをいただいております。学校と地域が連携・協働した多様な活動が年々充実してきています。
- 一方で、例えば、休日や夜間の地域行事等に教員が参加することで、その良さは多くあるものの、時期によっては教員の多忙化につながってしまうこともあるので、参加の仕方等について今後相談させていただきながら、地域との連携・協働のさらなる充実を図りたいと考えています。
- より良い学校運営のためには、地域の皆様のご理解・ご協力が不可欠です。学校運営協議会をはじめ、さまざまな機会を捉えて、学校にご意見をお寄せください。



教職員の皆様へのメッセージ

- 日々、教職員の皆様が子どもたちにきめ細かな支援をしたり、保護者や地域の方々からの相談等に対して丁寧かつ誠実に対応をしたりしていることが、学校や教職員への信頼を高めることにつながっています。
- 一方で、子どもたちのためであれば、長時間勤務も止むを得ないという働き方によって教職員が疲弊してしまうのであれば、それは子どもたちのためにはなりません。ワークライフバランスを保ちながら、働きやすさと働きがいをもって、生き生きと子どもたちと接することが何よりも重要です。
- 保護者や地域の方々の中には、学校の壁を高く感じている方もいます。「学校はどう見えているのか」客観的に振り返ることが必要です。「困ったときだけ連絡をする」という姿勢ではなく、日常の対話を増やして小さな信頼を積み上げていくことが、学校の壁を低くし、保護者や地域の方々との望ましい関係構築につながっていきます。また、学校の思いを率直に伝えていくことも大切です。
- 昨今の「働き方改革」や「教師を取り巻く環境整備」の目的は、学校教育の質の向上を通して「すべての子どもたちへのより良い教育の実現」をすることです。教師自らが学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体的に学び続け、教師としての資質向上に努めていきましょう。



学校と地域が連携・協働する体制をつくるために



(1) コミュニティ・スクールの全校導入

※ 学校運営協議会制度を導入している学校のことを「コミュニティ・スクール」と言います。

地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかを共有し、学校と地域が一体となって「地域とともにある学校」を目指します。

(2) 各学校運営協議会への補助金交付と「ドリームプラン」の実施

※ 特色ある学校づくりのために各学校運営協議会への補助金を交付するとともに、学校運営協議会が企画提案する事業に対して予算を配当する「ドリームプラン」という取組を行っています。

(3) 地域学校協働本部の設置

※ 幅広い地域住民等の参画を得て、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動（地域学校協働活動）を推進していくための組織を「地域学校協働本部」と言います。

子どもたちの学力向上のために



(1) 学力向上指導員の配置、「はげまし隊」による授業支援の実施

(2) 1人1台端末を活用した、AI型学習教材やプログラミング学習教材等の活用

(3) 「知識構成型ジグソー法」を活用した協調学習の実施

※ 子どもたち一人一人に課題解決の手がかりとなる異なる知識を与え、グループや全体で話し合いながら知識を組み合わせることで答えを作り出していく学習法を「知識構成型ジグソー法」と言います。

(4) 定期テスト等で使えるテストの自動採点システムの導入とテスト分析による授業改善・個別最適な学びの実現

(5) 中学生への英語検定受験料の補助、ALT（外国語指導助手）の配置

学校における働き方改革を進めるために



(1) スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員等の配置

(2) 客観的な方法による時間外勤務時間の把握と時間外在校等時間の上限の設定

(3) 夏季休業中の学校閉庁期間の設定

(4) 部活動の活動時間及び休養日の設定

(5) 学校の勤務時間外の電話転送サービスの導入

(6) スクールロイヤー（弁護士）への法務相談の実施



延岡市では「幸動～自他の幸せのために学び行動する子ども～」の育成を目指しています。

この実現のためには、学校と家庭と地域が「信頼と対話」に基づいた対等な関係で連携・協働し、「より良い学校づくり」を進めることが重要です。